

It started aiming to attempt cultivating friendship in November, 1963



関西大学経済人クラブ 創立60周年記念
第240回例会



関西大学経済人クラブ創立60周年記念

KANSAI UNIVERSITY KEIZAIJIN CLUB News

- 第238回例会
- 第239回例会
- 第241回特別例会
- 創立60周年記念セミナー
- 【創立60周年記念】第240回例会
- 秋のゴルフコンペ
- 春のゴルフコンペ
- 若手会主催
「KANDAI entrepreneurs」
- 第4回全国招待大学対抗男女混合駅伝



KANSAI UNIVERSITY
関西大学経済人クラブ
<https://ku-keizaijinclub.jp/>

第238回例会 2023年5月15日(月)

「ファインバブル技術で、万博から世界へ」

株式会社サイエンスホールディングス 代表取締役会長
一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン理事
青山 恭明 氏

2023年5月15日、第238回例会が大阪新阪急ホテルの会場とZoom利用のハイブリッド形式により開催された。「2023年度総会」「ご講演」「懇親会」の三部構成で、楠隆夫副代表幹事の司会により進行。

第一部の総会では、永尾俊一会長のご挨拶、9名の来賓のご紹介、芝井敬司理事長、前田裕学長、田中義信校友会会長のご挨拶をいただく。その後、永尾会長を議長とし議事に入り、事業報告及び計画、収支決算、監査報告、規約、役員改正等について決議。

第二部では、株式会社サイエンスホールディングス代表取締役会長の青山恭明氏に「ファインバブル技術で、万博から世界へ」と題し二つの転機に分けてご講演をいただいた。

次女の病と阪神大震災の被災者から学び、 積極精神で企業トップとして生きる決意をした。

「企業トップとして自覚を得た転機」は、次女の急性白血病の発症、入院、治療にあった。娘への愛の深さ故、命長らえる保証がない病気故、一時は自身の人生の目的の全てが次女となってしまった。事業はどうなっても良い、少しの時間でも次女と過ごしたい、といった思いで日々を悶々と過ごしていた。ある日、阪神大震災のテレビ番組を何気なく見ていた際に長田区で中華料理店を営んでいたが震災により妻子も店も失ってしまった「林キタイ」氏の言葉により目が覚める。「絶対にこの場所でやり直してみせる。その時にまた撮影に来て。やり直して家族の供養にする」とカメラマンに向かって話していたのである。自分より苦しい筈の人の言葉を聞いて腑抜けの自分を省みた。「まだ娘は生きているのに」「仕事の仲間も居るのに、自分は会社のトップなのに」と。それからは、週に1度だけ娘の顔を見に行くと決め仕事に邁進。どん底からの生還である。そこで得た事は、誰にでも積極的精神のスイッチの赤ボタンと消極的精神の黒ボタンを持っている。消極的な気持ちになっている時(黒ボタン)には赤ボタンを押し直す事を習慣づけることにより、見える風景が変わってくる。成功するまで止めない、諦めない、ということ。おやじとして命をかけて企業のトップとして頑張ることを決意し真摯に事業に取り組み始めた。(入院3年後に次女は快癒)

三女のアトピー克服から始まった水のビジネス、健康・環境貢献への道。

「水に関係するビジネスを始めた転機」は、三女のアトピー及びそれによるいじめを受けた事であった。学校から泣き帰る三女を見て心が痛く、あらゆる良いと言われる事を試したが治らず。ある日「塩素吸着アレルギー反応」ということがあると知る。もしやと自宅で脱塩素剤を含ませたシャワーを使ってみると、三ヶ月以内に三女の皮膚が快癒した。そこから水に深入りする始まりとなる。脱塩素の仕組みに賛同してくれた株式会社タカラレーベン（以下タカラレーベン）の協力を得て、タカラレーベン分譲のマンションのバスルームにウォーターシステムのマイクロバブルを標準装備。モデルルームでの小さい水槽でのデモもインパクトがあり、サイエンスとタカラレーベンの相乗効果が目に見えてあがる。現在では、トヨタホームにおいても「美スパ」として付加価値として認められている。また、近時にCMされているシャワーは、顧客の大規模アンケートの女性の声から開発されたものである。よくある健康器具の様に買ってすぐに使われなくなるものではない価値ある製品を模索、シャワーならば半永久的に家族皆が使えると発想、現製品となった。現在は飲食店やゴルフ場、飛行機の洗機場などでも重宝され、大きな節水ともなりSDGsにも繋がっている。ファインバブル技術の世界水準は日本にある為、2025年の大阪・関西万博の「大阪ヘルスケアパビリオン」にも出展。テクノロジーの世界戦略を考えており、2030年には世界貢献できるものと考え進んでいる。



既述のご講演の後、浅田光明副会長から青山様へ丁寧な謝辞及びお礼をお渡しする。

(一社) 2025年日本国際博覧会大阪パビリオンの清水事務局長より大阪ヘルスケアパビリオンのご説明をいただく。

続いて第三部の懇親会に移る。池内啓三相談役の乾杯のご挨拶の後、食事を楽しみながら歓談。新役員紹介、新入会員紹介、ゲスト参加者の紹介等が行われた。本間副会長の挨拶により盛会のうちに閉会となった。

(昭和62年経済学部卒 副代表幹事 安岡 優子)



浅田光明副会長から青山様へ丁寧な謝辞及びお礼をお渡しする



新入会員の紹介

青山 恭明 氏【プロフィール】



2007年株式会社サイエンスを設立。工業用洗浄に超微細気泡を採用していることに、いち早く着目。2010年にマイクロバブルトルネード（入浴装置）の販売を開始。現在はこの技術を利用して、美容のみならず医療・介護・農業・工業など様々な分野に進出。全国各地の飲食店にもミラブルの技術が広まっている。2025年の大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンには未来型人間洗濯機の展示など、サイエンスの技術で魅せる未来の生活を披露予定。

講演テーマ 『カーボンニュートラルを目指す電子実装のはんだ付け最前線』
～世に溢れる電子製品の実装に欠かせないはんだ接合の信頼性と脱炭素の追求～

西村 哲郎

株式会社日本スペリア社 代表取締役社長

【昭和55年 関西大学工学部卒】

第239回例会 2023年9月11日(月)

カーボンニュートラルを目指す電子実装のはんだ付け最前線

～世に溢れる電子製品の実装に欠かせないはんだ接合の信頼性と脱炭素の追求～

株式会社日本スペリア社 代表取締役社長
西村哲郎氏 (昭和55年 工学部卒)

2023年9月11日、阪新阪急ホテル紫の間で、関西大学経済人クラブ第239回例会が、オンラインとハイブリッド形式で、ご来賓・会員・ゲスト参加者を合わせて62名で開催されました。

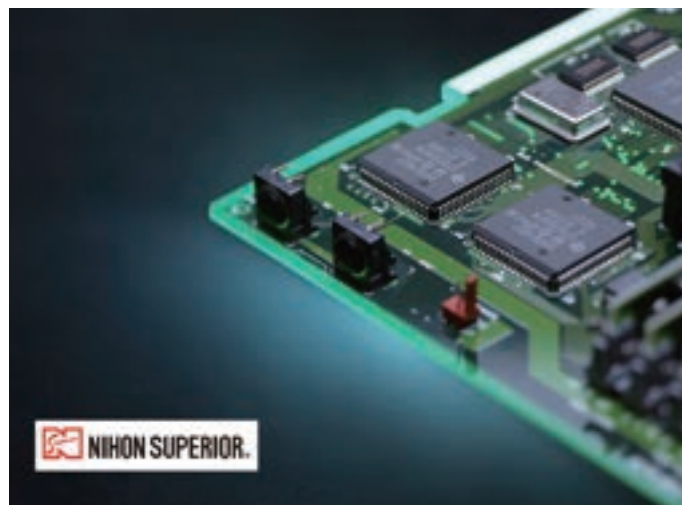
第1部は、荻野真志幹事の司会のもとで開催され、永尾会長の挨拶では、次回の第240回例会が経済人クラブ設立60周年の記念例会であることが述べられ、関西大学の学是である「学の実化」の申し子である私たちの経済活動が伝わるように企画されていることが報告されました。また、新たな経済人クラブとして福岡経済人クラブの設立総会が11月15日に行われることも紹介されました。

続くご講演は、講師に昭和55年関西大学工学部科を卒業され、現在は株式会社日本スペリア社代表取締役社長西村哲郎氏をお招きし、『カーボンニュートラルを目指す電子実装のはんだ付け最前線』～世に溢れる電子製品の実装に欠かせないはんだ接合の信頼性と脱炭素の追求～、と題してお話していただきました。

株式会社日本スペリア社

はんだ付け・ろう付け技術で世界13か国に貢献

西村氏は大学卒業後、すぐに西村氏のお父様が1966年に設立された日本スペリア社に入社され、それ以来、はんだ付け・ろう付けに関する研究開発を続けてこられました。日本スペリア社の優れた製品は多くの顧客から評価され、使用されることとなりました。ローカルコンテンツ要求から現在では13か国に進出されています。また本日2023年9月11日にマレーシア新工場の登記が完了したというご報告もありました。からの専門的な質問にオペレーターが即答できるような体制を整えられました。中でも、最新の価格や在庫情報を含む業界のあらゆる商品情報を保有するデータベースを作成する事により、業界全体の業務効率化へ貢献されています。



世界トップレベルの技術力で、環境問題にも貢献

また、その製品のライセンス供与は30社に及び同社の製品規格がISO9453（403）として記載されているということです。さらにNASA、ペンタゴン、航空機産業、電子関連産業などと国際共同研究ネットワークの場で活躍されています。

脱炭素の分野では、同社製品が巻かれていたプラスチックボビンをなくすことにより、プラスチックの使用量を削減し、また接合するときに使用する電力を削減することができる低温接合技術を開発したことをご紹介いただきました。この技術による電力削減量は640GWhに達し、CO₂削減量は23万トンになるとのことです。

第2部の司会は糸野慎一郎副代表幹事に移り、ご来賓として芝井敬司理事長、前田裕学長よりご挨拶をいただきました。お二人からは知財の重要性についてお伝えいただきました。

田中義信校友会長の乾杯のご挨拶で懇親会が始まり、新入会員やゲストの紹介などが行われました。安岡 優子副代表幹事の挨拶により盛会のうちに閉会となりました。

(昭和56年工学部化学工学科卒 副会長 山崎 康裕)



乾杯の挨拶で懇親会が始まり、新入会員やゲストの紹介が行われました

西村 哲郎 氏【プロフィール】

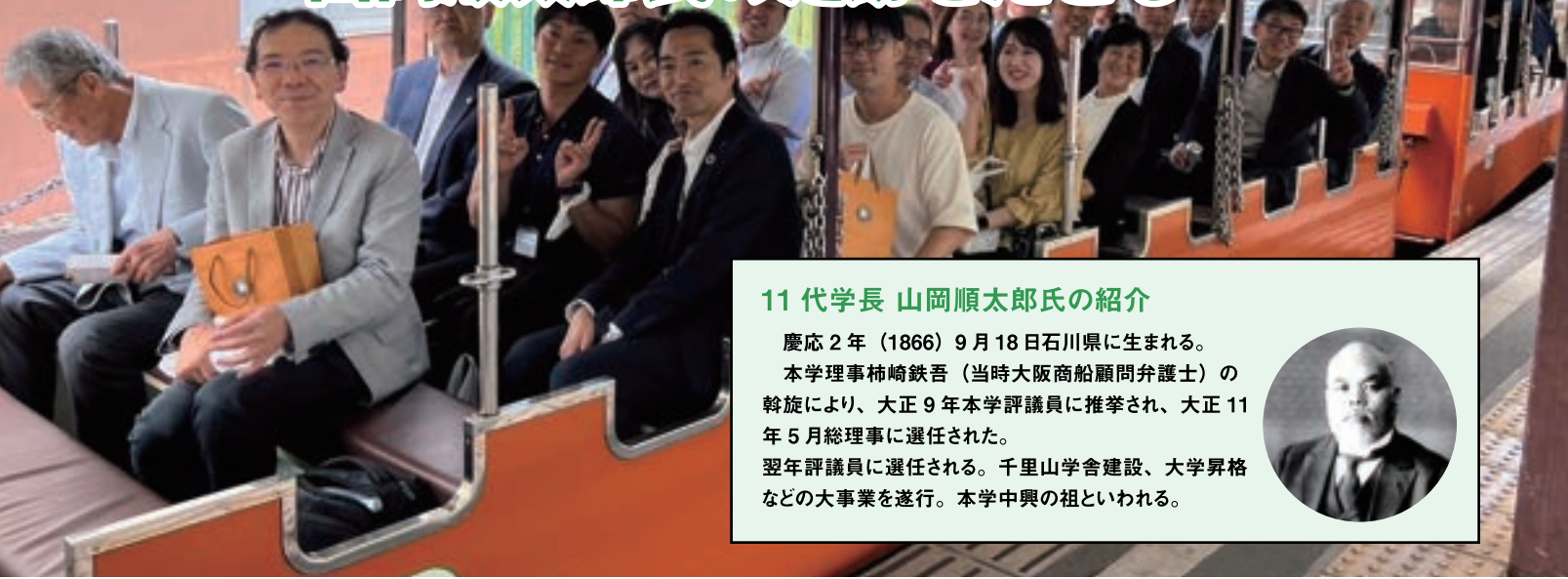


1980年に関西大学工学部金属工学科を卒業、父親が創業の（株）日本スペリア社に入社。2004年から2代目社長を務める。

現在は、関西大学の評議員、先端科学推進機構グループの科学技術振興会の会長を務め、エレクトロニクス実装学会の常任理事や高校の運営指導委員をしながら、業界の最前線で若者の将来に向けた活動を行う。吹田商工会議所の議員、吹田優良企業法人会、吹田国際ロータリークラブの理事などで地域活動にも従事している。

2023年9月23日(土)～24日(日)

創立60周年記念セミナー 山岡順太郎氏の足跡をたどる



11代学長 山岡順太郎氏の紹介

慶応2年(1866)9月18日石川県に生まれる。
本学理事柿崎鉄吾(当時大阪商船顧問弁護士)の
斡旋により、大正9年本学評議員に推挙され、大正11
年5月総理事に選任された。
翌年評議員に選任される。千里山学舎建設、大学昇格
などの大事業を遂行。本学中興の祖といわれる。

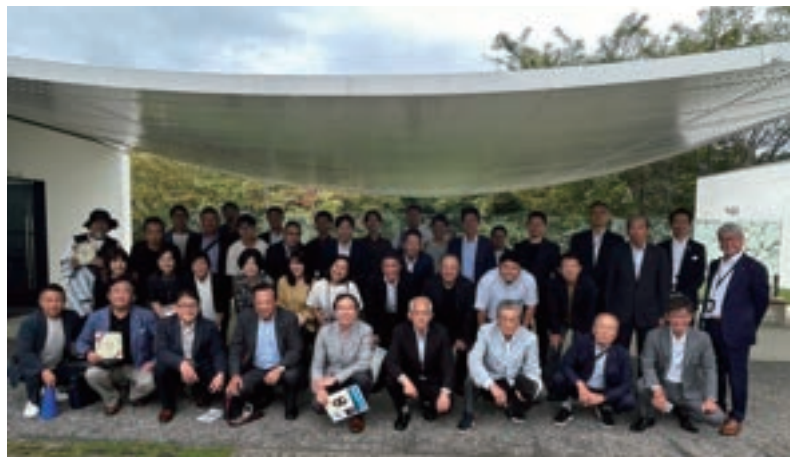


フェスティバル in 北陸に合わせて、2023年9月23日(土)～24日(日)に企画された山岡順太郎氏の足跡をたどるスペシャルな旅。10時半に「JR 黒部宇奈月温泉駅」にて総勢38人が集合。

まず、YKKセンターパークへ。ファスナーとサッシの世界シェアを誇るメーカーのYKKには、関大出身者が171名いるそうだ。創業者の吉田忠雄氏の経営理念を紹介するコーナーなど、経済人クラブにふさわしい見学となった。

山岡順太郎氏の偉業と黒部峡谷の魅力を堪能

宇奈月駅からトロッコ電車に乗るときに、お寿司のお弁当が配られ、絶景を楽しみながらのランチ。このトロッコ電車は、黒部の電源開発のために1927年に運転を開始したもので、今でも、各発電所へは道路が無いので、このトロッコが唯一の交通手段だ。1919年に日本電力の初代社長に就任し、電気が人々を豊かにする、と急峻な峡谷に調査に入り、その5年後着工した、山岡順太郎の計り知れない信念と行動力。しかも今でいう再生



可能エネルギーである水力発電だ。関西大学の学長に就任したのは1923年。どうしてそのようなことを同時に成せるのか? 不思議である。トロッコにて1時間、鐘釣駅で折り返したが、山の奥に行くにつれ、その思いは強くなった。

15時すぎ、宇奈月駅に戻ると、山岡塾の学生さんら引率者を含め22名が合流して、宇奈月温泉の町をボランティアガイドさんの説明で、1時間程度散策した。黒部川電気記念館、山岡順太郎の別荘があった独楽荘の碑などを見学。黒部市芸術創造センターセレネへ。芝井理事長による講演「経済人 山岡順太郎を巡って」を拝聴。造船と航路開発、宅地開発、教育、電力などの各分野に大きな功績を残したが、金沢の人脈も貴重だったことを知る。芝井先生、このためにたくさんの資料を紐解き、資料も付けてご講義いただき、本当にありがとうございました。

宇奈月温泉での懇親会と山岡順太郎氏ゆかりの地巡り

18時頃、宿泊先の延対寺荘にチェックイン。温泉で、早起きと充実したスケジュールの1日の疲れをいやす。宇奈月温泉の開湯も1923年。黒部川の上流から当時は木管で運ばれてきたとのこと。黒部で働く人たちや山岡順太郎自身も大いに癒されたことだろうと思いを巡らす。そして、お待ちかねの大宴会。芝井理事長、前田学長からのご挨拶をいただいたあと、田中校友会長による乾杯で開宴。YKKさんからも、地元のお酒を協賛いただき、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、くじで決めた席のお隣に座り合わせたフレッシュな山岡塾の学生さんたちといろいろな話ができ。芋縄副会長の楽しい大阪締めにて閉会。そのあと、2次会、3次会もあったようです。

翌朝、良く晴れて景色抜群。有志で、山岡順太郎のお墓参り。私は、絶景の露天風呂を楽しんでから朝食後周辺を散歩していると、昭和天皇や与謝野鉄幹、晶子の句碑にも出会った。そして、新幹線にて金沢へ。昼頃金沢の「フェスティバル in 北陸」会場ホテル金沢へ到着。

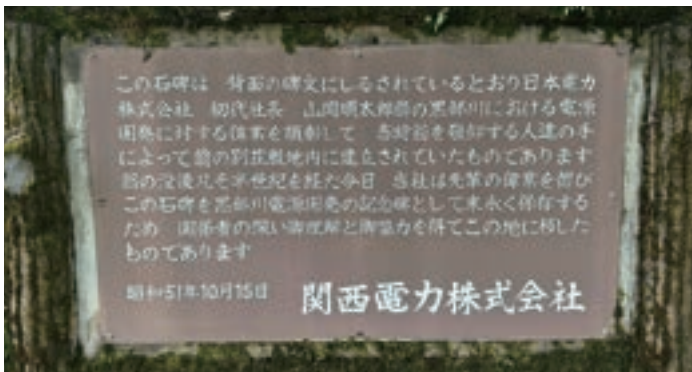
北陸3支部合同の「フェスティバル in 北陸」盛大に開催！

フェスティバル in 北陸は、関西大学、関西大学校友会、関西大学教育後援会が共催し、福井、富山、金沢の北陸3県の支部が合同で進めて企画運営している。

芝井理事長、前田学長、田中校友会長、山本教育後援会長の挨拶のあと、基調講演は、宮本勝浩関西大学名誉教授による「北陸新幹線敦賀延伸による経済効果」。テンポよい楽しいお話。第2部の懇親会では、応援団演舞演奏に始まり、富山風のおわら風の盆の舞が披露されて、とても盛り上がった。楽しい時間はあっという間に過ぎて、17時にお開きになった。



充実の2日間、いろいろと企画していただいた皆様に心から感謝申し上げます。
(昭和61年工学部卒 副会長 前田 由利)



山岡順太郎の別荘があった独楽荘の碑



芝井理事長による講演「経済人 山岡順太郎を巡って」



黒部市芸術創造センターセラネにて



山岡塾学生と交流を深めた大宴会

第240回例会 2023年11月27日(月)

関西大学経済人クラブ創立60周年記念

「みるもの、聞くもの、食べるもの、触るもの全て関西大学」

2023年（令和5年）11月27日、関西大学経済人クラブ創立60周年記念 第240回例会が執り行われた。

会場は、ホテル阪急インターナショナル最大の宴会場「紫苑」の間。入口ではウェルカムボード&フラワーが華やかにお出迎え。御来賓・会員・現役学生・ゲストを含む総勢233名が集い、盛大な祝典の幕開けとなった。

創立60周年記念式典 伝統と革新を融合した華やかな祝宴

定刻18時、会場前スクリーンに映し出されたのは60周年記念ムービー（digitive 松永昂大氏作）。

関西大学経済人クラブ創立（1963年）から60年間の歩みの中で、第11代学長・総理事の山岡順太郎が提唱した「学の実化」の精神が受け継がれていること、そしてその「学の実化」の申し子として拡大・発展をし続ける想い、新ロゴマークの発表など……経済人クラブのこれまでから今、未来へと繋がる希望に満ちたオープニングムービーでスタートした。

FM802 DJの樋口大喜氏と当会員の岡美里氏により開会宣言、司会進行が行われた。

会員の鹿田淳子氏、岡田光莉氏によるお箏の伴奏（歌主導 柿本幸平氏）で学歌斉唱の後、第9代会長 永尾俊一氏の会長挨拶へと進行。

今回のテーマは『みるもの、聞くもの、食べるもの、触るもの全て関西大学』と、式典で催される関西大学卒業生のアトラクションや、提供されるお食事・お土産の品・サービスを紹介した。また、実社会で活躍する経済人の研鑽と懇親の場として、今後も更なる発展連携を目指していくと参加者に発信した。

来賓を代表して、芝居敬司理事長、前田裕学長、田中義信校友会長よりご挨拶。続く顕彰では、9名に感謝状が贈られた。

鏡開き・乾杯には西條合資会社の天野酒が準備され、代表の西條陽三氏が口上を、当クラブ名誉顧問 寺内俊太郎氏が乾杯挨拶を務めた。



祝宴、華やかに！多彩なイベントで盛り上がる

祝杯を交わし、イベント企画・お食事・歓談タイム。

会場右手に設置されたシャンパンタワーには、株式会社河内ワイン代表 金銅重行氏によってスパークリングワインが注がれた。

お祝いのビデオメッセージが流れ、フィギュアスケーター 高橋大輔氏、アナウンサー 宮根誠司氏、歌舞伎役者・俳優 片岡愛之助氏など、関西大学関係者の各業界著名人 11 名が華を添えた。

ステージイベントでは、藤本真希氏による沖縄ミュージックパフォーマンス、吉本芸人ガクテンソクによる漫才、そして若手会主催の大抽選会は会員メンバー 25 社から 73 品目の協賛品が贈られ会場を盛り上げた。

最後に、参加者全員が肩を組み逍遙歌を斉唱。芋縄隆史副会長による挨拶で閉会となった。

(令和 2 年社会学部卒 幹事 岡田 光莉)



～ Behind Story ～

今回の 60 周年記念例会にあたり 20 名の実行委員メンバーが集結。2023 年 7 月 4 日（第一回実行委員会）～当日の 11 月 27 日まで、互いに意見を交換しながらコミュニケーションをとり企画・制作を密に進めてきました。迎えた当日、盛會に終わり、メンバーそれぞれの晴れやかな表情がとても印象的でした。同じ目的に向かって共に考え創り上げることでより強い絆が結ばれたように感じたプロジェクト期間になりました。



オープニングムービーに始まり、多彩なイベントや祝辞、懇親を通して、参加者間の絆が深まりました

第241回特別例会 2024年2月3日(土)

河内ワイン ワイナリー見学会

2024年2月3日(土)、関西大学経済人クラブ第241回特別例会が、金銅重行幹事が代表取締役を務める株式会社河内ワイン(大阪府羽曳野市駒ヶ谷1027)のワイナリーにて開催され、会員・ゲスト参加者を合わせて24名が参加しました。

90年の歴史を持つ河内ワイナリー 未来への挑戦

第1部はワイナリー見学会が実施され、ワイナリー内にある工場や売り場等を散策しました。金銅重行幹事から、ワイン作りを始めたきっかけ、本年が90周年(創業1934年)で節目を迎える時期であること、ワインの製法、コロナ禍の苦難、将来のビジョン等、ユーモアを交えて楽しく説明して頂きました。河内ワイナリー周辺区域には現在350世帯約1000人しか居住しておらず、次世代の担い手が減少傾向であるため、大手企業との人材交流、芸大生や地元中学生の体験授業の受け入れ等社会貢献を通じて、若い担い手を確保する等様々な努力をしていることも聞くことが出来ました。工場内には、使用していた樽の中に入る体験が出来る施設や、1970年大阪万博の頃に実際に使用していたトラクター等が展示されていました。また河内ワイナリーでは事前の申込みをすれば1樽を購入することが出来、団体個人を問わず幅広く受け付けをしていますとのご提案も頂きました。



河内ワイナリーで味わう美食と美酒 会員やゲストとの絆を深めた懇親会



第2部の懇親会では、永尾俊一会長の挨拶、金銅重行幹事の説明、会員やゲストの紹介などが行われ、河内ワイナリーで作られた赤ワイン・白ワイン・スパークリングワイン合計10種類以上のワインを試飲しながら食事をしました。山崎康裕副会長の挨拶により盛況のうちに閉会となりました。

(平成19年法科大学院卒 幹事 中辻 大輔)

(株)河内ワイン代表取締役社長 金銅 重行 氏 (平成14年商学部卒)

大阪の豊かな食文化と河内駒ヶ谷の土地で育まれた河内ワインは、創業以来80年の時を超えて、和の心を大切にしたいワイン造りを行ってきました。

地元の葡萄農家、醸造職人、そして河内ワインを愛する皆様との繋がりを大切に、河内ワインは「ここでしか作れない葡萄酒」を目指しています。西洋のワインではなく、日本の家庭料理に気軽に寄り添える、家族のような一杯を届けたい。そんな想いを胸に、河内ワインは歩み続けています。

第4回 全国招待大学対抗男女混合駅伝

関西大学の法被を着用し、ノボリ旗を立てて応援

ヤンマーフィールド長居及び公園周回コースで開催された第4回全国招待大学対抗男女混合駅伝に、関西大学陸友会、阿倍野支部、東北経済人クラブと協力して、現地にて応援を実施しました。

春を感じさせるような暖かい気候のもと、関西大学の法被を着用し、コースの各地点でノボリ旗を立てて応援をしました。

残念ながら6位（関西勢2位）という結果でしたが、選手や監督から応援が力になったと御礼の言葉いただきました。

（平成6年法学部卒 代表幹事 村上 康司）



経済人クラブ ゴルフコンペ

秋のゴルフコンペ



西コースは来月に男子プロの日本オープンゴルフ選手権が行われるので、今回は久々の東コースでの開催となりました。

30代～80代の幅広い年齢層の会員22名に参加いただき、ゴルフを通じて親睦を深めることができました。優勝は金銅重行氏、2位は小林知義氏、3位は仁科雄一朗氏、ベスグロは岩崎圭祐氏となりました。

（平成6年法学部卒 代表幹事 村上 康司）

春のゴルフコンペ

大変美しいコースでうねりのあるフェアウェイ、直線的なグリーン、立体的な特徴のあるバンカーなどとても楽しみながらゴルフをすることが出来ました。

30代～80代の幅広い年齢層の会員15名に参加いただきました。今回は、初参加の方も多くいつもの例会とはまた違った雰囲気会で会話も弾んでいるようでした。また、終了後は表彰式と懇親会を開催し、会長・副会長から豪華な賞品を協賛いただき楽しいゴルフコンペとなりました。

優勝は浅田美明氏、2位は新谷和敬氏、3位は大倉平氏となりました。

（平成9年工学部建築学科卒 副代表幹事 楠 隆夫）



YOUNG CLUB

関西大学経済人クラブ若手会

経済人クラブ若手会は、次世代を背負って立つ若手メンバー同士が気軽に交流を図る事ができるように設立された会です。交流会・研修会だけでなく、趣味や遊びを通じて、若手世代の交流と親睦、自己啓発を図り、母校関西大学出身者による人脈の形成を目的としています。

40歳未満の関西大学出身のOB・OGの方は、どなたでもお気軽にご参加いただけます。

◆ ◆ ◆ < GUEST SPEAKER >



2023年4月12日
「令和時代の企業マインド」
岡田 光莉氏 松永 昴大氏



2023年5月10日
「話題のサウナ！流行の裏にある
業界課題と経営者の施策」
太田 有哉氏 谷 勇紀氏



2023年6月14日
「ファッション/ショービジネス編」
小塚 真吾氏 藤本 未己氏



2023年7月12日
「日本の美～私らしく生きる～」
岡 美里氏 南日 優里氏



2023年8月9日
「関大卒の勝ち筋 ～起業&就活～」
大石 純平氏 鈴木 信輝氏



2023年9月13日
「自分らしく働く
～プロスポーツ&資産形成～」
都並 優太氏 荻野 真志氏



2023年10月11日
「創る、世に出す
～商品開発とローンチ～」
柿本 幸平氏 森 雪尋氏



2023年11月8日
「小商いのススメ」
久野 惣司氏 小西 リョウ氏



2023年12月13日
「エンターテインメント×
スポーツビジネス」
生岡 直人氏 石村 健吾氏



2024年1月10日
「組織やサービス・プロジェクトの原動力
になる、コンセプトの決め方」
岡田 光莉氏 谷本 拓也氏



2024年2月14日
「地域の魅力を活かした事業」
濱崎 航平氏 藤原 周二氏



2024年3月13日
「起業/経営、温泉へのこだわり」
山本 梁介氏 門脇 翔氏